

政治学科 「公共政策フィールドワーク」のお知らせ

政治学科に設置されている「公共政策フィールドワーク」は2017年度に開設され夏期に夕張市（北海道）等を訪ねるなど、実習を中心に講義を組み合わせた授業です。興味を持った学生は初回授業に参加して詳しい説明を受けてください。

【重要】

本授業の受講希望者や興味を持った学生は初回授業（4月7日（土）3・4時限、富士見坂校舎 F309 教室）に必ず出席してください。

◆授業について（※詳細はシラバスを参照のこと）

1 授業の概要

「政策・都市・行政」に属し、実習を中心とする6単位科目です。日本の地域社会における政策課題をフィールドワーク（現地調査）によって発見し、考察し、現実を直視しつつ将来を展望する問題意識と洞察力を養うことを目的とします。

授業は隔週土曜日に2時限の連続で行います。昨年度は夏期に全国唯一の財政再生団体であり最も高齢化が進む夕張市で調査実習を行い、秋学期に京都市、横浜市、川崎市、香取市等から受講生自身の選択による比較調査実習を行いました。本年度は、受講生の人数と希望によっては夕張市に加えて島根県の中山間地域も夏期実習地の1つに考えています。

2 定員

45名（事情により変更の可能性があります）

※受講希望者が多い場合は、1年生の受講を優先します。

※受講生が少ない場合は、休講になる可能性があります。

◆夏期実習について

1 日程

夕張市における実習は、夏休み期間中の9月10日～13日を予定しています。

島根県において実習を行う場合は、サマーセッション期間中になる見込みです。

2 調査実習内容（夕張市）

夕張市役所の協力により、夕張市役所、同市議会、社会福祉協議会、市民活動団体等に訪問調査をする予定です。他では経験できないまちづくりの実際を学ぶことができます。

3 実習費用（夕張市）

（現地費用）45,000円程度（←2018年度実績、本年度未定）

※集合場所および解散場所 新千歳空港を予定しています。

※集合場所への往路、解散場所からの復路の旅費は夏期実習費用に含まれません。